

1. 会場へのアクセス

首都高速道路 6 号線から常磐自動車に入り、谷和原I.C.で降り国道294号線を常総方面に約16km。筑波サーキット案内の看板が見えたら、2つ目の信号を左折し約5km。

2つ目のセブンイレブンが見えたら次の信号を右折。後は直進すればサーキットの正面入口。谷和原インターからサーキットまでは約30～40分位。東京から約 2 時間。

筑波サーキットに着いたら、Dゲートを入れてください。（走行会の場合入場料は不要です。）
右側にトンネルが見えるのでそこをぐってください。
そのまま A パドックまで進んでください。



2. パドックに着いたら

パドックに着いたら、指定の場所に車を停めてください。

走行に必要な荷物をおろしてください。（特に固定されていないアクセサリや荷物が車内に残ると危険です。）

受付時間になったら受付をしてください。受付で走行の誓約書にサインをいただきます。

受付ではゼッケンをお配りします。2枚受け取ってください。同時に計測器もお配りしています。

3. 走行の準備

ゼッケンを車両右側（国産車の場合は運転席側）とボンネットに貼ってください。ゼッケンは2枚あります。

走行の風圧で飛ばないようにしっかりと貼ってください。

計測器を取り付けてください。右側ドアの内張りにガムテープなどでしっかり固定してください。

運転席側のフロアマットは外してください。走行中ずれてブレーキに挟まる事故が発生しています。

飛散防止のテーピングはガラスのヘッドライト以外はする必要はありません。

ホイールキャップなどしている車は外してください。

走行中は運転席側の窓は全閉をお願いします。横転時のドライバー保護になります。

走行中の服装は肌が露出しない、長そで長ズボンをお願いします。グローブも指先が出ないものをお願いします。

4. ドライバーズブリーフィングへの参加

必ずドライバーズブリーフィングに参加ください。当日の走行方法や、コンディションなど重要な伝達事項があります。

5. 出走前点検

出走前には必ず自分の車を再確認してください。室内の荷物やドア、ボンネットの締め忘れなど。

タイヤのエア圧は抜けていないか確認をお願いします。

出走前にはコースレイアウトは、よく頭に入れておいてください。特に出入り口とポストの位置。

6. 走行の注意

走り出したら、頭が真っ白にならないように、最初はペースはゆっくりでお願いします。

コース内にあるポストの位置は最初の数周で確認してください。

走行時間枠内でしたら、ピットイン、アウト自由なので、緊張が高まるようでしたら、一度ピットに入ることをお勧めします。

走行中は周囲の状況を確認しながら、サイドミラーを含めて、バックミラーをよく見るようにお願いします。

速い車が後ろから迫ってきても焦らず進路を急激に変えないようにお願いします。速い車が進路を変えて抜いていきます。

7. 旗の意味

サーキットを走るためには必ず旗の意味は覚えてください。

黄色旗 前方にスピン車両など障害物があります。ペースを落としてください。

赤色旗 コース内トラブルのため走行中断です。完全にペースを落としてピットに戻って来てください。

チェッカー旗 走行終了です。ペースを落としてピットに戻って来てください。

黒旗 車両トラブルによりピットに戻って来なければなりません。あなただけに振られます。

8. もしクラッシュしたら

サーキットではクラッシュはあります。

もしクラッシュしてしまったら、車を安全な場所に停めて、エンジンを停止させ、カギはそのままで車から降りてください。

車から降りたら、コース脇のガードレールを乗り越えて安全な場所に退避してください。

退避の過程では安全のためヘルメットは脱がないでください。

持ち物

ヘルメット バイク用で構いません。

グローブ 指先の出ないもの。

ビニールテープ、ガムテープ ゼッケン固定用。

エアージェジ あると便利

注意

サーキットでは、普段の街乗りよりも車への負荷が大きくなります。

ノーマルの車ですと、ブレーキがすぐに悲鳴をあげます。数周しかもたない車がほとんどです。

また水温、油温もすぐに異常値まで上がり、エンジンへのダメージがあります。

サーキット前には十分お車を整備してお越しいただくと共に、ノーマルの車の場合は、車の状況を見ながら全開走行の配分を考えていただくとトラブルが少なくなります。

走行中は他車との接触の回避に努めてください。サーキットだからと言って、レースのような接近走行をすると大変危険です。大切なお車ですので、くれぐれも接触は無いように配慮をお願いします。